

令和元年 11 月 29 日  
栗東市総合計画審議会【資料 4】

**第五次栗東市総合計画後期基本計画  
令和元年度上期進捗状況並びに  
成果指標（アウトカム指標）  
について**

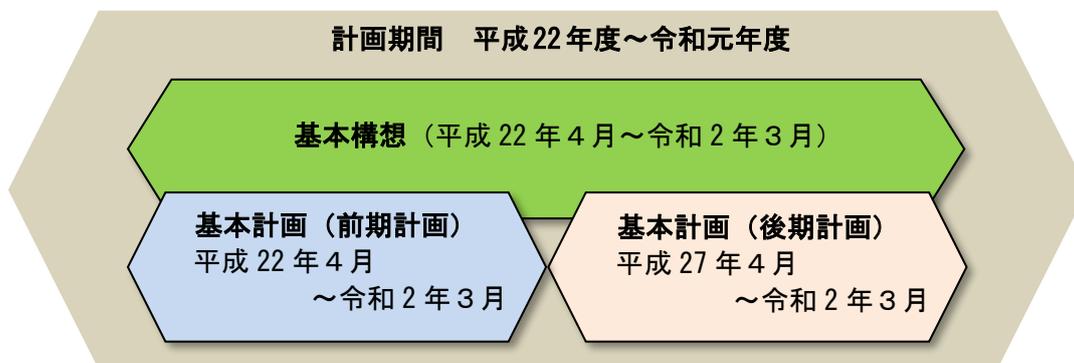
**令和元年 11 月**

# 1. 総合計画の進行管理について

## (1) 総合計画の位置づけ

「第五次栗東市総合計画後期基本計画」は、全ての行政運営の指針となる本市の最上位計画です。

本市の計画は、10年間のまちの将来像やまちづくりの基本方針を展望する基本構想と、これを実現するための手段を示す5年間の基本計画で構成しています。

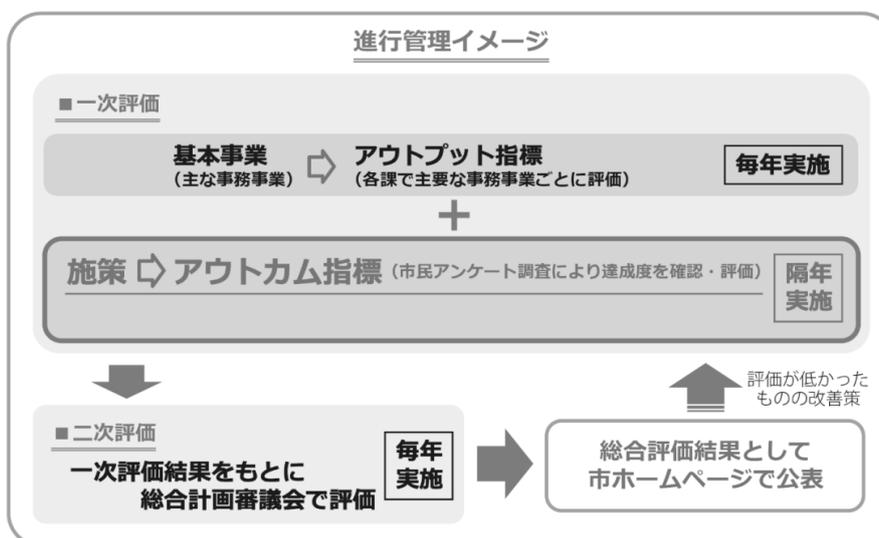


## (2) 進行管理について

後期基本計画では、市民との協働による管理を基本とし、毎年各課で設定するアウトプット指標をもとに一次評価（内部評価）を行うこととしています。

また、施策ごとに設定した「アウトカム指標」の達成度を隔年で実施する市民アンケート調査で確認し、その結果を評価材料として総合計画審議会で二次評価（外部評価）を行うことと定めています。

なお、平成26年度に同時に策定を行った第七次行政改革大綱は「政策の実現に向けて」の「効率的で効果的な自治体運営」の主たる計画として位置付けていることから、一体的に進行管理を行うものとしています。



## (3) 本年度の評価について

上記進行管理イメージでは、基本事業ごとに定めたアウトプット指標をもとに一次評価（内部評価）を行うこととしており、各所属における自己評価により確認を行います。二次評価については、各所属における自己評価結果をもとに外部評価を行い、年度末に実施年度の実績値による評価を行うこととします。

また、施策ごとに設定した「アウトカム指標」の達成度を市民アンケート調査で確認し、その結果を評価材料として総合計画審議会で二次評価（外部評価）を行います。

## 2. 令和元年度上半期総合計画後期基本計画評価状況

### (1) 内部評価結果

(詳細別添「令和元年度上期後期基本計画進捗状況一覧(部・課)」参照)

#### ①基本目標1「安全・安心のまち」

政策名	自己評価区分(部)						自己評価区分(課)					
	1	2	3	4	5	計	1	2	3	4	5	計
一人ひとりが尊重され、誰もが参画できるまち	0	0	8	0	0	8	0	2	27	0	0	29
生涯を通じた健康づくりのまち	0	0	6	0	0	6	0	1	28	0	0	29
安心を支える福祉を推進するまち	0	0	8	0	0	8	0	0	70	0	0	70
安全・安心に暮らせるまち	0	0	9	0	0	9	0	3	35	0	0	38
計	0	0	31	0	0	31	0	6	160	0	0	166

#### ②基本目標2「環境・創出のまち」

政策名	自己評価区分(部)						自己評価区分(課)					
	1	2	3	4	5	計	1	2	3	4	5	計
地球環境にやさしい環境を推進するまち	0	0	3	0	0	3	0	0	10	2	0	12
快適で美しい生活環境のまち	0	0	7	0	0	7	0	1	32	0	0	33
まちを支え、活力を創出する産業のまち	0	2	6	0	0	8	2	5	49	0	0	56
計	0	2	16	0	0	18	2	6	91	2	0	101

#### ③基本目標3「愛着・交流のまち」

政策名	自己評価区分(部)						自己評価区分(課)					
	1	2	3	4	5	計	1	2	3	4	5	計
人が育ち、力を発揮できるまち	0	0	2	0	0	2	0	0	23	0	0	23
個性を生かす地域文化のまち	0	0	3	0	0	3	0	0	21	0	0	21
広域・近隣とのつながりを促進するまち	0	0	2	0	0	2	0	2	25	1	0	28
多文化交流のまち	0	0	1	0	0	1	0	0	4	0	0	4
計	0	0	9	0	0	9	0	2	73	1	0	76

④「政策の実現に向けて」

政策名	自己評価区分（部）						自己評価区分（課）					
	1	2	3	4	5	計	1	2	3	4	5	計
市民主体、市民協働のまち	0	0	3	0	0	3	0	0	15	0	0	15
効率的で効果的な自治体運営	0	0	5	0	0	5	0	0	38	0	0	38
計	0	0	8	0	0	8	0	0	53	0	0	53

⑤集 計

基本目標名	自己評価区分（部）						自己評価区分（課）					
	1	2	3	4	5	計	1	2	3	4	5	計
安全・安心のまち	0	0	31	0	0	31	0	6	160	0	0	166
環境・創出のまち	0	2	16	0	0	18	2	6	91	2	0	101
愛着・交流のまち	0	0	9	0	0	9	0	2	73	1	0	76
政策の実現に向けて	0	0	8	0	0	8	0	0	53	0	0	53
計	0	2	64	0	0	66	2	14	377	3	0	396

【凡例】自己評価区分（当該年度目標に対する達成度を自己評価）

達成度	達成度の度合い	定量的な場合の判断基準	定性的な場合の判断基準
5	当初設定した目標を著しく上回る成果をもって達成	達成水準に対して120%以上の成果を挙げた	期待を大幅に上回る成果を挙げた
4	当初設定した目標を上回る成果をもって達成	達成水準に対して100%超の成果を挙げた	期待を上回る成果を挙げた
3	当初設定した目標を概ね計画どおりに達成	達成水準どおり（100%）の成果を挙げた	ほぼ期待どおりの成果を挙げた
2	当初設定した目標を未達成	達成水準に対して100%未満の場合	期待通りの成果に至らなかった
1	当初設定した目標を著しく未達成	達成水準に対して80%未満の場合	期待を大幅に下回る結果となった

### 3. 総合計画市民アンケート調査結果について（評価）

#### 【結果の見方】

- ※1 表の割合は、(それぞれの) まちづくりが推進されている設問に対し、肯定的な意見（「そう思う」「ややそう思う」）の割合を示す。
- ※2 傾向欄は以下の通り  
 ↑：目標値に近づいている  
 →：前回と同程度（目標値に近づいていない）±1.0%ポイントの差  
 ↓：目標値から遠ざかっている
- ※3 ★は重要業績評価指標（KPI）
- ※4 目標値欄の（ ）内の数値は「目標値の設定方針」の①、②により算出した通常目標値。  
 下段の数値は（ ）内の数値に「目標値の設定方針」③を加味して算出した最終目標値。  
 （巻末資料参照）
- ※5 特に記載のない限り、文章中の割合は「推進されている」と感じている市民の割合。

#### ■基本目標1 「安全・安心のまち」

「★」…重要業績評価指標（KPI）

#### 基本政策1 一人ひとりが尊重され、誰もが参画できるまち

施策	指標(アウトカム)	基準値 平成26年度実績	経過値 平成28年度実績	現状値 平成30年度実績	目標値 令和元年度末	傾向
人権を尊重するまちづくり 男女共同参画のまちづくり	人権意識が高く、差別や偏見のないまちづくりが推進されていると思う市民の割合	53.8%	51.6%	51.9%	60%	→
平和活動を推進するまちづくり	平和の尊さを実感できるまちづくりが推進されていると思う市民の割合	44.5%	41.6%	42.8%	53%	↑

#### 基本政策2 生涯を通じた健康づくりのまち

施策	指標(アウトカム)	基準値 平成26年度実績	経過値 平成28年度実績	現状値 平成30年度実績	目標値 令和元年度末	傾向
健康増進・医療体制の整ったまちづくり 生涯スポーツを推進するまちづくり	健康づくりを実践するまちづくりが推進されていると思う市民の割合	62.2%	61.5%	66.0%	(68%) 71%	↑
食育のまちづくり	健全な食生活の実践など食育のまちづくりが推進されていると思う市民の割合	45.1%	44.6%	52.1%	54%	↑

#### 基本政策3 安心を支える福祉を推進するまち

施策	指標(アウトカム)	基準値 平成26年度実績	経過値 平成28年度実績	現状値 平成30年度実績	目標値 令和元年度末	傾向
地域で支えあう福祉のまちづくり	住み慣れた地域で、近隣との支えあいのもと、安心して暮らせるまちづくりが推進されていると思う市民の割合	56.3%	51.7%	54.4%	62%	↑
高齢者が健やかに暮らせるまちづくり	高齢者が健やかに暮らせるまちづくりが推進されていると思う市民の割合 ★	51.1%	47.9%	49.3%	(60%) 63%	↑

障がいのある人の自立と社会参加を促進するまちづくり	障がいのある人がない人と同様に日常生活を送れる環境づくりが推進されていると思う市民の割合★	42.9%	37.2%	38.9%	51%	↑
子どもの健やかな育ちを支え合うまちづくり	安心して子育てができる環境づくりが推進されていると思う市民の割合	49.6%	50.4%	52.0%	60%	↑
社会保障で安心して暮らせるまちづくり	国の社会保障制度について周知が図られ、安心して暮らせるまちづくりが推進されていると思う市民の割合	34.1%	33.6%	37.4%	41%	↑

#### 基本政策4 安全・安心に暮らせるまち

施策	指標(アウトカム)	基準値 平成26年度実績	経過値 平成28年度実績	現状値 平成30年度実績	目標値 令和元年度末	傾向
災害に強いまちづくり	道路・河川等の災害対策・防災に配慮されたまちづくりが推進され、地域における防災・危機管理体制が充実されていると思う市民の割合	46.8%	48.1%	49.6%	(56%) 59%	↑
防災・災害危機管理のまちづくり						
防犯のまちづくり	犯罪や消費者被害から市民が守られ、交通事故が少なく、安全に安心して暮らせるまちづくりが推進されていると思う市民の割合	53.8%	53.8%	45.4%	57%	↓
消費者を守るまちづくり						
交通安全のまちづくり						

### ■基本目標2 「環境・創出のまち」

「★」…重要業績評価指標 (KPI)

#### 基本政策1 地球にやさしい環境を推進するまち

施策	指標(アウトカム)	基準値 平成26年度実績	経過値 平成28年度実績	現状値 平成30年度実績	目標値 令和元年度末	傾向
地球環境問題解決に貢献するまちづくり	地球温暖化防止やごみの分別や資源化の推進など、地球にやさしいまちづくりが進んでいると思う市民の割合	69.2%	65.5%	65.1%	76%	→
資源循環型社会を推進するまちづくり						

#### 基本政策2 快適で美しい生活環境のまち

施策	指標(アウトカム)	基準値 平成26年度実績	経過値 平成28年度実績	現状値 平成30年度実績	目標値 令和元年度末	傾向
潤いのある緑にあふれたまちづくり	身近に公園や緑地等があり、美しい都市景観のまちづくりが推進されていると思う市民の割合	51.1%	49.6%	51.2%	(60%) 63%	↑
美しい都市景観のまちづくり						
ライフラインが整ったまちづくり	ライフラインや公共施設等、暮らしやすい快適な住環境が整ったまちづくりが推進されていると思う市民の割合	52.6%	52.0%	52.5%	(60%) 63%	→
住環境が整ったまちづくり						

### 基本政策3 まちを支え、活力を創出する産業のまち

施策	指標(アウトカム)	基準値 平成26年度実績	経過値 平成28年度実績	現状値 平成30年度実績	目標値 令和元年度末	傾向
新たな活力拠点を創出するまちづくり	新幹線新駅事業跡地をはじめ、地域に活力をもたらす産業創出のまちづくりが進んでいると思う市民の割合 ★	20.5%	19.0%	36.8%	(27%) 28%	目標達成
地域に活力をもたらす産業創出のまちづくり						
地域農業を育むまちづくり	農業・林業を振興するまちづくりが推進されていると思う市民の割合 ★	25.2%	30.2%	35.1%	32%	目標達成
緑豊かな森林を生かしたまちづくり						
商工業の振興と就労推進のまちづくり	商工業を振興するまちづくりが推進されていると思う市民の割合 ★	19.9%	25.2%	27.0%	26%	目標達成

### ■基本目標3 「愛着・交流のまち」

「★」…重要業績評価指標(KPI)

#### 基本政策1 人が育ち、力を発揮できるまち

施策	指標(アウトカム)	基準値 平成26年度実績	経過値 平成28年度実績	現状値 平成30年度実績	目標値 令和元年度末	傾向
生涯学習のまちづくり	生涯学習のまちづくりが推進されていると思う市民の割合	45.5%	41.9%	46.1%	55%	↑
次代を担う子どもに「生きる力」を育むまちづくり	充実した学校教育に取り組むまちづくりが推進されていると思う市民の割合	39.3%	36.3%	39.4%	(47%) 49%	↑

#### 基本政策2 個性を生かす地域文化のまち

施策	指標(アウトカム)	基準値 平成26年度実績	経過値 平成28年度実績	現状値 平成30年度実績	目標値 令和元年度末	傾向
歴史や伝統文化の香り豊かなまちづくり	歴史や伝統文化が生かされ、市民文化や芸術活動を振興するまちづくりが推進されていると思う市民の割合	49.0%	48.9%	48.3%	59%	→
市民文化や芸術活動を振興するまちづくり						

#### 基本政策3 広域・近隣とのつながりを促進する交流のまち

施策	指標(アウトカム)	基準値 平成26年度実績	経過値 平成28年度実績	現状値 平成30年度実績	目標値 令和元年度末	傾向
地域資源を活用した観光振興のまちづくり	地域資源を活用した観光を振興するまちづくりが推進されていると思う市民の割合 ★	22.1%	22.9%	24.6%	(29%) 30%	↑
交流を支える基盤づくり	幹線道路や鉄道、バスなどの公共交通をはじめとする広域的な交流基盤が整備されたまちづくりが推進されていると思う市民の割合	26.2%	26.9%	26.3%	(32%) 34%	→

## 基本政策4 多文化交流のまち

施策	指標(アウトカム)	基準値 平成26年度実績	経過値 平成28年度実績	現状値 平成30年度実績	目標値 令和元年度末	傾向
多文化共生を推進するまちづくり	国籍、民族などが異なる人々が相互に認め合い、共に暮らすことができるまちづくりが推進されていると思う市民の割合	26.3%	26.5%	28.3%	32%	↑

### ■政策の実現に向けて

「★」…重要業績評価指標(KPI)

## 基本政策1 市民主体、市民協働のまち

施策	指標(アウトカム)	基準値 平成26年度実績	経過値 平成28年度実績	現状値 平成30年度実績	目標値 令和元年度末	傾向
地域コミュニティによるまちづくり	自治会等の地域活動による住民自治のまちづくりが推進されていると思う市民の割合	61.1%	58.5%	62.6%	(67%) 70%	↑
市民活動が広がるまちづくり	市政への市民参画や市民と行政との協働によるまちづくりが推進されていると思う市民の割合	39.0%	39.2%	40.8%	47%	↑

## 基本政策2 効率的で効果的な自治体運営

施策	指標(アウトカム)	基準値 平成26年度実績	経過値 平成28年度実績	現状値 平成30年度実績	目標値 令和元年度末	傾向
効率的な行財政運営	行財政運営が効率的に実施されるまちづくりが推進されていると思う市民の割合	25.3%	21.0%	24.5%	(32%) 34%	↑
公正、確実な事務運営による行政サービスの品質向上	公正、確実な事務運営により、行政サービスの品質向上が推進されていると思う市民の割合	29.9%	27.8%	26.9%	(36%) 38%	→

### 【概観】

- ・基本政策で示した27の目標値のなかで、令和元年度末の目標値を既に達成している項目は3項目にとどまっています。
- ・まだ目標値には達していないものの、前回(平成28年度実績)から数値(市民の割合)が1%以上向上している項目は17項目に達しています。
- ・前回(平成28年度実績)の調査から数値が低下したのは、「防犯・消費者保護・交通安全」、「地球環境への貢献、資源循環」、「伝統文化・市民文化・芸術の振興」、「交流を支える道路・公共交通の整備」、「公正・確実な行政サービスの品質向上」の5項目でした。

#### 4. 総合戦略とのかかわりについて

人口減少の克服、地域経済の縮小など地方創生に関わる問題に関して、人口が増加傾向にある今の時点から将来を見据え、今後も引き続きまちの活力維持、向上を図ることを目的に、平成27年度に「栗東市人口ビジョン」、「栗東市総合戦略」を策定し、平成28年度より本格的に取り組みを進めています。

この総合戦略は、第五次栗東市総合戦略後期基本計画の計画期間と対象期間を同じくしていることから、総合計画を上位計画としてその方向性との整合を図りつつ策定しています。

また、総合戦略では、取り組みを進める施策について数値目標（重要業績評価指標、以下「KPI」）を定め進行管理が必要とされていることから、一部「KPI」については、総合計画のアンケート項目を成果指標として設定しているものもあります。（★印）

総合戦略の進行管理にあたっては、栗東市総合戦略及び第七次栗東市行政改革大綱に合わせて評価し、進行管理を行います。

「栗東市人口ビジョン」…本市の人口動態についての分析を行い、今後目指すべき方向や目標人口など、将来の人口展望を示しています。

「栗東市総合戦略」…国・県の総合戦略や人口ビジョン、総合戦略策定にあわせ実施した市民アンケート調査結果などを踏まえ、平成27～31年度の計画期間中に本市が取り組む施策等を示しています。

#### 5. 総合戦略に係る市民アンケート調査結果について（評価）

##### ■お住まいの地域や今後について

「★」…重要業績評価指標(KPI)

指標(アウトカム)	基準値 平成26年度実績	経過値 平成28年度実績	現状値 平成30年度実績	目標値 令和元年度末	傾向
子育てがしやすいところだと思う市民の割合 ★	51.0%	60.5%	60.4%	58%	目標達成
仕事と子育ての両方を行いたいと思う市民の割合 ★	49.7%	56.4%	57.6%	57%	目標達成
今の場所に住み続けたいと思う市民の割合 ★	56.0%	69.8%	73.0%	64%	目標達成

・「お住まいの地域や今後について思うことをお尋ねします」で示した総合戦略の重要業績評価指標は、3項目全てについて、目標値を達成しています。

## ○参考資料（後期基本計画アウトカム指標）

後期基本計画の策定の際、平成 26 年度に実施した市民アンケート調査結果における評価として「そう思う」「ややそう思う」と回答された率を、施策レベルの現状値と定め、これをもとに、以下のとおりアウトカム指標の目標値を定めています。

### 【目標値の設定方針】

- ①現状値をⅠ～Ⅳの4段階に区分し、それぞれの段階ごとに設定した加算率を乗じ、小数点第一位を四捨五入する。
- ②①において設定した目標値については、加算率を乗じることにより、逆転現象が生じることがあるため、段階ごとに目標最低値を設定し、これを下回らないよう調整する。

段階	現状値	加算率	目標最低値
Ⅰ	～25%未満	1.3	—
Ⅱ	25～50%未満	1.2	32%
Ⅲ	50～75%未満	1.1	60%
Ⅳ	75%以上	—	82%

※現状値…市民アンケート調査で「そう思う」「ややそう思う」と回答された率。

※加算率…現状値が低いものは高く、高いものは低く設定。

※目標最低値…下位の段階における現状値の最大値に加算率を乗じた数値（目標値）を目標最低値として設定。

【例：段階Ⅱの目標最低値】

$$24.9\% (\text{段階Ⅰの現状値の最大値}) \times 1.3 (\text{加算率}) \\ = 32\% (\text{目標最低値})$$

- ③市民アンケートにおいて、基本目標ごとに優先順位が高いと回答された施策（3項目）については、①～②で設定した目標値に、さらに5%割り増し、小数点第一位を四捨五入した数値を目標値とする。

$$\text{優先度の高い施策の目標値} = \text{目標値で設定した数値} \times 105\%$$